

読者ひろば

Readers' square

不発弾発見と 大空襲の記憶

高谷和生⁶²

市民団体代表

(玉名市)

戦後72年を目前に、熊本市東区画図町の下水道工事現場から不発弾発見との報道には驚いた。熊本空襲は終わっていないのだ。

報道写真の外観上からは、1945年5月14日、三菱熊本航空機製作所を攻撃した500^{ポンド}通常爆弾ではないかと危ぐした。陸上自衛隊から「米

軍が投下した焼夷弾」
との正式報告がなされ、信管も除去されひとまず安どした。

これまでの各種調査で、1945年7月1日の熊本大空襲では小さな焼夷弾を結束した大型集束焼夷弾が投下され、市中心部に多くの被害をもたらした。また、戦後70年に開催した「米軍資料から見た熊本空襲」講演会で、熊本で初めてナパーム弾が使用されたとして写真も公開された。

異なり、戦争遂行のため多様な爆弾・焼夷弾を試験的にも使用し、徹底して攻撃した米軍空襲の実相が見えてきた。今回発見の焼夷弾は、形状等からこれまで熊本では未確認の久留米や佐世保空襲で投下された大型500^{ポンド}の「M76焼夷爆弾」で、これまでの空襲記録には記載されていない。

特定に手間取った。また行政が行う情報公開の不十分さや歴史資料として行う爆弾等調査の遅れも感じた。

今回の不発弾処理後は、「熊本空襲の実相」を知り、将来に伝えるためにも、陸自が示す爆弾型式や発見状況、空襲日時等の地元証言等について行政当局からの確な情報公開をお願いしたい。

戦後72年にあたり「熊本空襲を忘れてはいけない」との警告を、この不発弾が伝えているように思えてならない。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは450字程度、主張・提言は600字程度。欄外に郵便番号、住所(アパート・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する。趣旨を変えず文章を直すこともあります。原稿は返却しません。二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用です。掲載分には薄謝を送ります。

投稿される方へ

◇モノクロ作品募集 「私の一字」
好きな文字一字を書き、その理由も。「モノクロギャラリー」
イラスト、墨絵、写真など。題材自由。作品は、はがき、封書、ファクス、メールで。作品は返却しません。あて先は①郵送〒860018506、熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係②ファクス 096(366) 12688③Eメール hiroba@kumanichi.co.jp